AI×福祉モデル

～孤立を防ぎ、人の支援を社会につなぐ三層構造～

このモデルについて

AI×福祉モデルは、困りごとを抱えた人が孤立せず、
人と社会につながり続けるための仕組みです。

AI・人・社会が役割を分担し、
誰か一人に負担が集中しない構造を目指しています。

三層構造

① AI（入口・補助）
最初に話せる入口として、状況整理と可視化を担います。

② 人（支援・判断）
感情を受け止め、最善を判断し寄り添います。

③ 社会（制度・実装）
制度・地域・企業などが受け皿となり、支援を継続させます。

大切にしている考え方

・AI は効率化ではなく、孤立を防ぐために使う
・人が向き合う時間を増やすための技術
・技術を前に出さず、人と社会の間に静かに置く

企画・構想整理支援（有料）

AI×福祉モデルをもとに、
団体・企業・自治体の企画や構想を整理する支援を行っています。

【内容】60 分／オンライン
・企画・構想の整理
・役割分担の確認
・次の一手の明確化

【料金】初回 5,000 円（税込）

お問い合わせ：AI×福祉モデルをもとにした企画・構想整理の相談

※銀行振込（事前）・少人数対応

supportmark